

2 研究の実際 > (2) 授業の実際

Ⅰ 授業実践 (高等学校 第2学年 2時目)

- ◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かそう。
- ◆授業前の取り扱い
 - ・前時のワークシート等をファイルにまとめ、生徒に配付する。
 - ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ◆本時の展開

学習活動と授業スライド	・生徒の様子や教師の気付き	○教師の働き掛け
<p>1 前時の活動を振り返る。</p>	<p>・スライドを見ながら真剣に話を聴き、返却したワークシート等と併せて、前時の学習内容を思い出している姿が見られた。</p> <p>・グループへの座席移動が和やかな雰囲気で行われ、授業内容や授業形態に対して、前回のような緊張した様子は見られなかった。</p>  <p style="text-align: center;">【前時の振り返りの様子】</p>	<p>○授業前に前時のワークシートと振り返りシートを返却し、自分の「強み」や学習を通じた気付き等を思い出させることができるようにした。</p> <p>○前時のスライドを提示し、「強み」の定義を確認できるようにした。</p>
<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">自分や友達の 「強み」を生かそう②</p>  </div>	<p>・本時のめあてと学習内容を知り、活動に期待する様子が見られた。</p>	
<p>3 「星☆いくつ」の活動を行う。</p> <p style="text-align: center;">交流活動 (4人)</p> 	<p>・グループでの活動の役割を指定することで、安心して活動に参加する姿が見られた。</p>  <p style="text-align: center;">【グループでの活動の役割を確認する様子】</p>	<p>○ワークシートを配付した。</p> <p>○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。</p> <p>○グループの座席で、活動の役割やシールの色を指定した。</p>

(1) グループの友達に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。

(2) 自分に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。

(3) 特に、自分の「強み」だと思えるものを3つ選び丸印を付ける。

活動3	★	★	★	★	★
1 思いが強い					
2 机が片付く・エッセンスが整う					
3 正直・真面目					
4 優しい・思いやりがある					
5 机が片付く・整理整頓					
6 ぶくぶくがつか					
7 想像力が豊か					
8 物事をよく考える					
9 好きな言葉					
10 役に立つ					

・互いの「強み」について、シールを貼るという活動で伝え合ったため、スムーズに互いの「強み」を伝える様子が見られた。

・自分に戻ってきたワークシートを見て、はにかむような笑顔が見られ、互いに目を合わせ、自然と笑い声が起きていた。
・少し迷う様子も見られたが、友達が貼ってくれたシールを参考にしながら、自分の「強み」を選んでシールを貼ることができた。

・友達がシールを貼ってくれた「強み」と自分がシールを貼った「強み」が同じだったり異なっていたりすることを改めて確認し、じっくりと考えて3つ選び丸印を付ける様子が見られた。



【「星☆いくつ」に取り組む様子】

(4) 選んだ「強み」と気づきを伝え合う。

・「星☆いくつ」の活動を通して、友達や自分の「強み」を見付けることの楽しさや難しさを伝え合う様子が見られた。

○自己肯定感が低い生徒でも安心して活動できるように、まず、友達の「強み」と思うものにシールを貼るように指示した。

○友達にシールを貼ってもらったワークシートに目を通す時間を設けた後に、自分の「強み」と思うものにシールを貼るように指示した。

○友達と自分が貼ったシールを改めて確認した後に、特に、自分の「強み」と思うものに丸印を付けるように指示した。

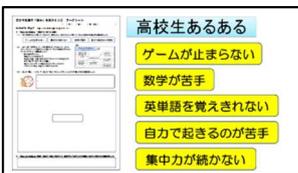
○前時に学習した「聴き方のポイント」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことが出来るようにした。

○選んだ「強み」と気づきを伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付く

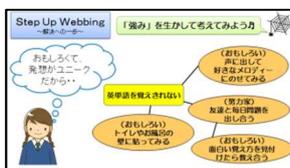
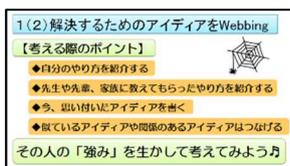
4 「Step Up Webbing～
解決への一歩～」の
活動を行う。

交流活動（4人）

(1) 自分が苦手なこと
や困っていること
の中で、解決した
かと思っっているこ
とを1つ書く。



(2) 友達が解決したい
かと思っっているこ
とを解決するためのアイ
ディアを書く。



・最初は難しそうに考え込んだりグループの友達と話をしたりしていたが、最終的には複数例示した「高校生あるある」を参考に書くことができた。

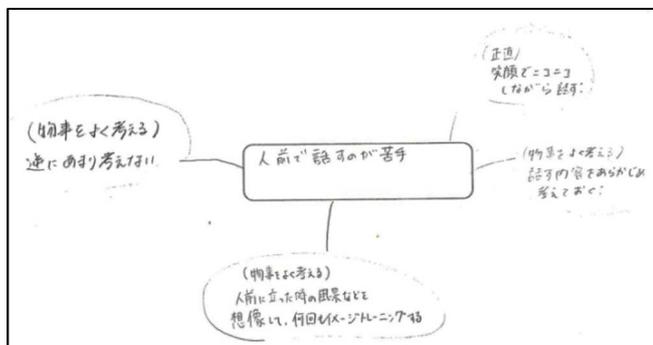


【「高校生あるある」の例示を聞く様子】

・友達の「強み」を生かしてアイデアを考えため、アイデアの数が少なく、また実効性に欠けるものもあったが、時間いっぱい取り組む姿が見られた。



【Bさんが記述した3つの「強み」】



【Bさんのグループの友達が記述した「Step Up Webbing」】

ことができるよう
にした。

- ワークシートを配付した。
- スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。
- 前時の活動（「自分Webbing」）と活動の方法が似ていることを伝え、抵抗なく取り組むことができるようにした。
- 前時のワークシートを参考に、生徒が苦手だと思っっていることを複数例示し、書きやすい雰囲気づくりをした。

- これまでの活動で見付けた友達「強み」を参考にして、解決するためのアイデアを書くように助言した。

<p>(3) 自分が解決したいと思っていることを解決するために頑張りたいことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達からのアイデアに笑顔になったりうなずいたりして、納得したり感心したりする様子が見られた。 ・友達のアイデアを参考にして、自分の「強み」を生かした解決方法を考え、書くことができていた。 <div data-bbox="523 539 1147 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「Step Up Webbing」を見て、自分の「強み」を生かして、自分がや 話す内容とか紙に書いてイメージトレーニングしてみたい。 深く考え過ぎない</p> </div> <p>【Bさんが記述した自分の「強み」を生かして頑張りたいこと】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○友達にアイデアを書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けた。 ○友達のアイデアを参考にして、自分が頑張りたいことを書くように助言した。
<p>(4) 自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表に関心を持ち、真剣に聴くことができていた。 ・自分が頑張りたいことを笑顔で伝え合い、自然に拍手をする姿が見られた。 <div data-bbox="523 1012 1137 1279" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <p>【自分が頑張りたいことを伝え合う活動の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の「強み」を生かして頑張りたいことについて伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かそうという意欲を高めるようにした。
<p>5 本時の活動を振り返る。</p> <div data-bbox="244 1464 474 1507" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>交流活動（4人）</p> </div> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの学習活動や交流活動を通して、自分とは異なる様々な価値観や考えに触れたことにより、自己理解や他者理解を深めるとともに、本時の学習を友達との関わりの中で互いのことを考える良い機会として捉えた記述が見られた。 <div data-bbox="501 1740 1158 1986" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今回は、前回よりも友達のことをよく考えることができたと思っ てる。友達の良いところを探したり、友達の強みに対するアド バイスを言えたりする機会があまりないので、良い機会でした。 そして、グループの人とたくさん話すことで自分の交流を 深められたよかったです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートを配付した。 ○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことが出来るようにした。

<p>(2) グループで気づきを伝え合う。</p> <p>6 次時の活動を知る。</p>	<div data-bbox="502 168 1157 369" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>周りの人からどう思われているかを知ることができた。自分の弱さを改善するために、グループの人が考えをくれた。自分では思いつかなかったアイデアがあったから新鮮だった。自分の強さも改めて知ることができたように感じた。</p> </div> <p style="text-align: center;">【生徒が記述した感想や気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「星☆いくつ」や「Step Up Webbing」をしたときの発見や気づき、互いに「強み」や解決のためのアイデアを伝え合った喜びや感謝の気持ちなどを、素直に伝え合う様子が見られた。 ・グループの友達と笑顔で会話するなど、次の時間も楽しみにしている様子が見られた。 	<p>○次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにした。</p>
--	---	--

◆授業後の取り扱い

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介しました。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書きました。
- ・ワークシートと振り返りシートをファイルにとじて、生徒が学習を振り返ることができるようにしました。

◆本時の考察の視点

- ・本時のねらい「グループでの交流活動を通して、自分や友達の『強み』を知ったり、『強み』の生かし方を考えたりすることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたかかを考察します。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

【⑤ 自分の「強み」を生かすことができると思ったか】

振り返りシートの「自分の『強み』を生かすことができると思いましたか」の質問で、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

【① 学習に進んで参加することができたか】

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は83.7%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.3%でした（図1）。また、生徒の振り返りシートには、「今回は、前回よりも友達のことをよく考えることができたと思う」「人からどんな風に見られているのか、自分自身を見つめ直す良い機会になった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたと考えます。

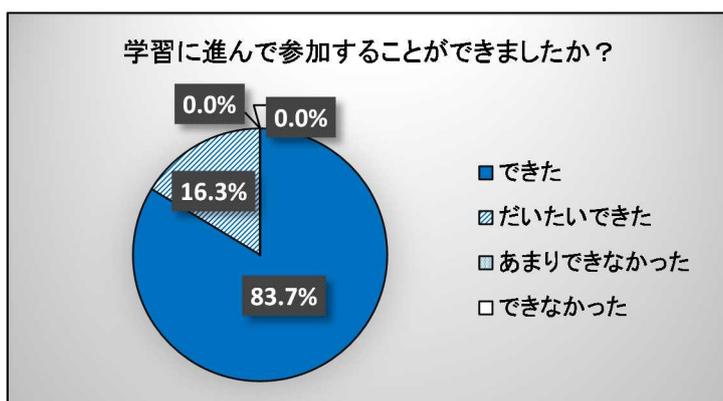


図1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

○振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は81.4%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は18.6%でした（図2）。また、生徒の振り返りシートには、「グループの人とたくさん話すことができ、交流を深められて良かった」「あまり話したことがない人から、自分はこう思われていたことが分かり、新鮮だった。また、みんながとてもユニークなアイデアを書いてくれて、みんなの発想力はすごいと思った」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

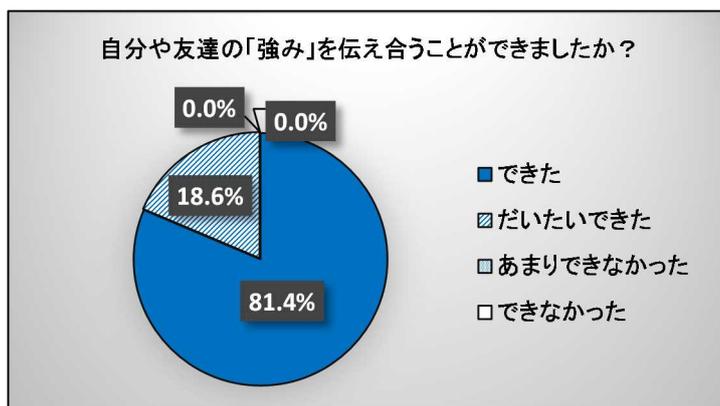


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は81.4%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は18.6%でした（図3）。また、生徒の振り返りシートには、「自分が思っていた『強み』と周りが思っていた『強み』が重なったものは自信が持てた。また、異なっていたものは新しい発見になった」「自分では思っていなかった『強み』を指摘されて驚いた。その『強み』にふさわしくなれるように心掛けようと思った」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。

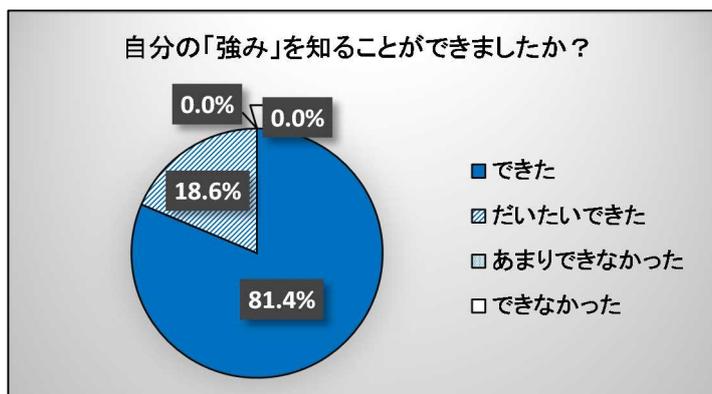


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は83.7%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.3%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートには、「自分が友達に対してどんな印象を持っているのか改めて考えるのも楽しかった」「友達の良いところを探す機会はあまりないので、良い機会だった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

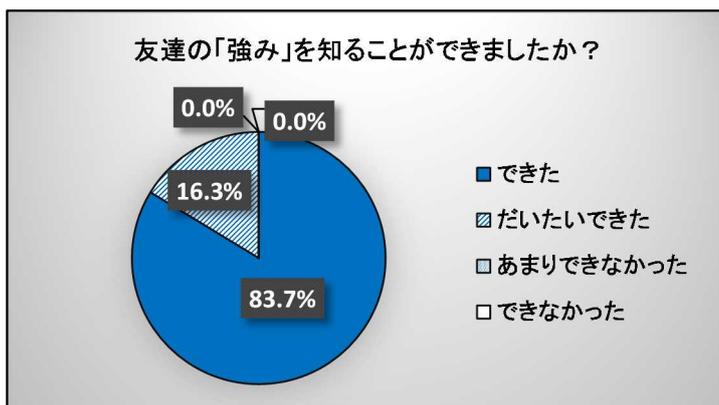


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【⑤ 自分の「強み」を生かすことができると思ったか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を生かすことができると思いましたか」の質問に対して、「思った」と回答した生徒の割合は60.5%、「だいたい思った」と回答した生徒の割合は39.5%でした（図5）。また、生徒の振り返りシートには、「自分には短所や直したいところがまだあるので、今日知った自分の『強み』を生かせないか考えたいと思った」「自分が苦手としていることも、自分の『強み』を生かして解決につなげることができると知り、実践してみたいと思った」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」の生かし方を考えることができたと考えます。

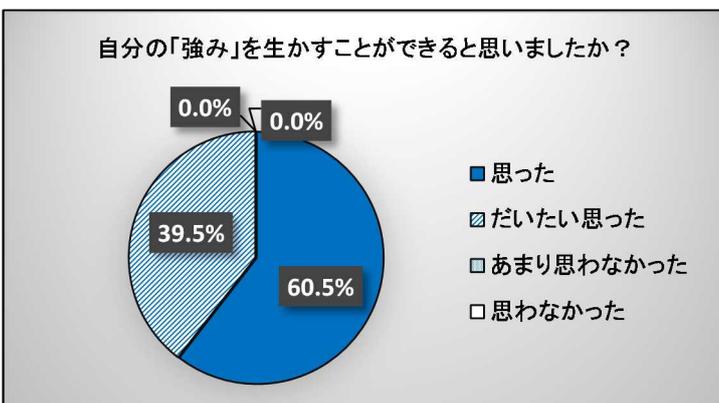


図5 自分の「強み」を生かすことができると思ったかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

以上の結果より、2時目の授業において、生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合うことにより、自分の「強み」を生かすことができると思ったことが分かりました。また、自分の「強み」を知ることにおいて、「できた」と回答した生徒の割合が1時目では52.4%であったのに対して、2時目では81.4%と、約30%数値が上がっていたことが分かりました。その理由として、直接的に自分の「強み」を見付けるのではなく、友達の「強み」を見付けると同時に友達から「強み」を見付けてもらうという学習活動を1時目と同様に継続して行ったことが有効であったと考えます。